

プレジジョンテクノロジーズ(PT)

超高品質製品向けを中心とした
構造的な需要増と圧倒的競争力で、
力強い成長

取締役専務執行役員
プレジジョンテクノロジーズ事業本部長
水間 聡



コア・コンピタンス

当社のDNAともいえる超精密加工、垂直統合、グローバル展開、大量生産といった根源的な強さにより、圧倒的な市場シェアと高水準のQCDESS*が確立されています。当社はいち早く海外展開をはかり、部品や設備の内製/保全能力も強化することで超高品質と低コストの両立を果たしました。設備投資の額では測定できない、長年にわたるノウハウの蓄積が参入障壁を形成しています。

*Quality (品質)、Cost (価格)、Delivery (納期)、Eco (環境) / Efficiency (効率)、Service (サービス)、Speed (スピード) の略



タイ バンパイン工場

機会

- 最終製品のエネルギー効率化やダウンサイジングに貢献する高品質ベアリング全般の需要増加。
- 自動車の電装化、EV化を背景とする1台当たりベアリング使用数量の増加。
- データ生成量増加に伴い、データセンター向けベアリング・ピボットの需要増加。
- 航空各社による低燃費高効率エンジンを搭載した新型航空機への転換。

リスク

- 競合各社によるミニチュア・小径ボールベアリング市場への参入意欲の高まり。
- HDD市場の縮小に伴うピボットアッセンブリー販売数量の中長期的な減少トレンド。
- 航空機メーカーの生産調整、労働力不足による新造航空機の新造ペース低下。

機会とリスクへの対応

- ボールベアリングの能力増強を早期に実施し、競争力をさらに強化。
- 航空機向けベアリングの強みをいかしシェアアップをはかる。
- 積極的なM&Aで機械加工品における新たな柱を打ち立てる。
- 製品の精度をさらに引き上げ、顧客に新たな価値を提供。

2023年3月期の概要

主力製品であるミニチュア・小径ボールベアリングは、データセンター向け、家電向けでは減少したものの、自動車向けで販売数量が増加し、増収となりました。ロッドエンド事業は、航空機市場が新型コロナウイルスの影響から順調に回復し売上高は増加しました。ピボットアッセンブリーは、HDD市場の減速に伴い、減収となりました。この結果、売上高は1,973億円、営業利益は430億円、営業利益率は21.8%となりました。

※特殊要因を除いた営業利益454億円 営業利益率22.9%

2024年3月期の見通し

ボールベアリングは、自動車向けは徐々に需要が回復、サーバー向けは不透明な状況ではあるものの下半期から需要が徐々に回復していくことにより、販売増加を見込んでいます。ロッドエンド・ファスナーを含む航空機向けビジネスは、下半期からの本格的な回復を見込んでいます。ピボットアッセンブリーにおいても、下半期からの需要回復を見込んでいます。

中期事業計画

ボールベアリングの成長に 航空機の回復+成長

主なポイント

- 1 ボールベアリング 販売
自動車、データセンターで足下調整も、
中長期では確実に成長
- 2 ボールベアリング 生産
いつでも月産370百万個まで増産可能
- 3 ロッドエンド・ファスナー
コロナ影響からの回復局面から
さらなる成長へ

次の10年を見据えた基本戦略

PTは、当社創業以来のコア事業として安定的かつ持続的な成長を維持するとともに、ポートフォリオを拡充することで成長領域を最大化することが基本戦略となります。そのために、すでに市場で圧倒的な競争優位性を誇るミニチュア・小径ボールベアリングをさらに強化するとともに、新技術の獲得やポートフォリオの拡充等を目的とする積極的なM&Aを通して、収益基盤をさらに強固にすることに取り組んでいます。

『「相合力」でオンリーワンを目指す』戦略

ミネベアミツミの宇宙航空関連製品ブランドである、MinebeaMitsumi Aerospace (NMB, NHBB, C&A Tool, myonic, CEROBear, Mach Aero, ミネベアプレジジョン、ミネベアミツミ) は、ロッドエンドベアリング、スフェリカルベアリング、ファスナー、ボールベアリング、ローラーベアリングなどの機械加工品を、航空機の3大市場である欧州・北米・アジア (日本・タイ・インド) 全ての地域で生産、供給しています。

ミネベアミツミは、航空機市場だけではなく、自動車市場でも幅広い製品ラインナップを展開しており、eVTOL(空飛ぶクルマ)など、次世代モビリティへの製品供給のチャンスも広がっています。航空機、自動車市場双方の市場で「低燃費」「省エネ」「電動化」「軽量化素材」に取り組んできた実績をいかし、今後求められるサステナブルフライトにも貢献してまいります。

eVTOL アプリケーション例

パワーユニット - 燃料ポンプベアリング、レゾルバ
フライトコントローラー ベアリング、ロッドエンド

ランディングギア - ベアリング、プッシング
エアフレーム - ラッチ、ドアハンドル、
キャビン - アンテナ、各種モーター、HVAC、コイル、ひずみゲージ



グループ全体の製品を相合



社会的課題を解決するソリューション創出

2023年3月より、超精密機械加工部品と、垂直統合生産技術を駆使し、革新的な精度向上により回転性能を高めたスーパーベアリングの量産を開始しました。

本製品は、従来品に比べ、回転トルク約40%低減、モーターでの電力値約4~5%が低減され、モーター効率の向上、静粛性・製品ライフの向上、CO₂排出量の削減などが期待できます。発熱対応などが求められるデータセンターなどでは、モーター効率の向上がCO₂排出量削減につながり、社会課題解決に貢献する高付加価値製品と

して、長時間の駆動・高信頼性が求められるエアコン、データセンター用ファンモーターなどでの用途が期待されています。2024年3月期後半には、ファンモーター用で月産1,500万個程度、エアコン用で月産1,000万個程度のスーパーベアリングを販売していく計画です。

回転トルク
約40%
低減!

当社従来品と
スーパーベアリングの
Difference



モーターでの
電力値
約4~5%
低減!

ミネベアミツミ At a Glance P.18